

第24号
 発行日:平成10年10月20日
 発行所
 東京青山同窓会事務局
 〒151-0072
 渋谷区幡ヶ谷1-7-4
 深津ビル4F
 TEL. 03-3378-6616
 発行者 坂井 俊一

東京会報

東京青山同窓会

一東京青山同窓会年間維持費一
 1口/1,000円2口以上(年間)
 会計幹事:山根 伸之(64回)
 振込先
 安田信託銀行 虎ノ門支店
 普4046552 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成10年度 東京青山同窓会 講演会・新人歓迎会

平成10年6月12日(金) 於：一龍屋台村・月島店

雨期に入った東京で、この日だけは朝から快晴となりました。6月12日、京都大学佐藤幸治教授(64回)の講演「行政改革と日本の将来」と今春母校卒業の新人(106回)の歓迎会を行いました。会場は三浦愛三先輩(62回)の多大なる協力をいただき、先輩の経営する一龍屋台村月島店で二次会までお世話になりました。

来賓として旧担任の藤田善思、君伸一郎両先生、青山同窓会から上村光司会長、早福卓監事、石田瑞穂幹事長、山田栄校内幹事の方々にご参席いただきました。

司会進行は星野紹英先輩(84回)。斎藤伸雄会長(44回)の挨拶で始まりまし

た。講師の佐藤幸治教授は現在行政改革委員会のメンバーである等の紹介が、同期の川崎明先輩からありました。限られた時間内では言い尽くせない内容がありました。(以下抜粋)

世界が冷戦から大競争の時代を迎えるにあたって日本もまた政治システム、国民の意識の変遷を求められています。殊に日本は上位構造であった米国が対等の競争相手になったことで国家も国民も自立性を発露しなければなりません。全ての選択に「自己責任」が付随します。行政主導の枠にはまった不特定多数への対応は時代遅れとなります。国家(民族)

の数だけ、また国民の数だけ真理がある事を認めなければならないーといった興味深い内容でした。



次に新人歓迎の辞として小生が、両親友人を大切に、同窓会を活用すればこの4年間は困った時も何かを成す時も有意義に過ごすことができると申し上げました。新人代表として山本亜希子さん(東京大学)の謝辞ののち懇親会へと移りました。

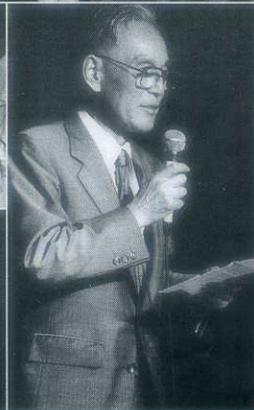
懇親会では司会を西山活子先輩(82回)に。今席は新人にとっては卒業以来の再会の場であり、新人同士では時の過ぎゆくを惜しむように歓談し、先輩に対しては生きのいい澆刺としたところを見せてくれました。

最年長から新人まで、60年の齢の隔たりの人間が会してやはり青山同窓生と確認したのは、校歌と応援歌でした。新潟中学校校歌を富所強哉先輩(46回)、高校校歌を菊池隆先輩(74回)のリードで斉唱し、続いて「青山」エールで締めくくりました。

最後に新人達へ。

親元地元を離れ、今までの常識、知識が経験が、ありとあらゆる事がゆらぎ、思い悩んでしまうことでしょう。しかし、一人ひとりが思い悩んだ末に出した結論は多種多様であるが、それ故、全て正しいのです。何事にもとらわれずに考えられることは自立の第一歩です。これからの前例のない時代に独自の価値観を持ち、他人の価値観を認めることができる人間を社会は待っています。

前田 豊(88回)



日本再生に期待

適時適切な政策が日本の地力を活かす

東京青山同窓会会長：齊藤 伸雄（44回）

最近明るく楽しい話しが少ない。輝く未来が見えない。腹の立つこと、意に満たない、腑に落ちないことが多い。

私も隠居して時間が出来たので昔覚えた語学を学び直したり、ゴルフの練習でもと思ったが、どうもいけない。進歩どころか、いくら努力しても達成感が得られない。何故か。理由は心身の衰えが進んでいるだけのことである。といっても老化という冷酷な現実

を充分納得している訳ではない。やるせない不満で仕方がない昨今である。

日本の社会も戦後の昭和は輝かしかったが、最近のマスコミに溢れる情報は当面している困難、挫折、失敗を伝えるものであり不安を拡大させている。貸し渋り、金融機関の破綻、不況の深刻化、失業率の急増等、経済の実体は暗さを増すばかりである。

この10年近い間に嫌な事件が続いている。オウム事件、総会屋事件、官僚

の墮落、贈収賄、少年犯罪、拓銀山一破綻等が続いている。

又、政治も理念も哲学も置きざりのまま混迷の度を深めている。

この日本社会の乱れの原因は色々あるだろうが、最も重要なのは各界に於ける責任感の喪失である。責任の所在が不明確になり責任を持って問題に対処する姿勢が乏しいことである。何故日本全体が無責任になったのか腑に落ちない。

21世紀まで余すところ1年余りである。日本は世界一の債権大国、大幅な貿易黒字、1200兆円余りにのぼる個人金融資産等堂々たる数字を誇っている。経済力の基盤をなす製造業にも依然力強いものがある。適時適切な政策と実行が伴えば地力は十分に活かされていくことは間違いない。

今後は「日本売り」ではなく「日本買い」に転じていくことを期待したい。

総会に出席して

7月7日（金）ホテル新潟にて
副会長 阿尻 威吾（55回）

齊藤伸雄会長が所用のため出席できないとのことで、佐藤さん（53回）、坂井さん（64回）、日下部さん（82回）と、私も出席することになった。新潟の総会への出席は、4、5年ぶりだろうか。

ホテル新潟の会場には、定時前から同窓生が続々とつめかけ、仲間同志で交わす新潟弁が懐かしく聞こえてくる。

7月7日（金）午後6時～大会々場は、800人近い出席者で満杯の盛況で、流石地元ならではの総会だと、感じた。

先輩がたの姿も多く見られ、中でも、松浦さん（28回）、松井さん（31回）のように、90才を越えてなお、かくしゃくとしておられるのには、恐れ入った次第である。

新校舎の建設も順調に進んでいるようである。

総会議事終了後、校歌斉唱が、ピアノ伴奏に指揮者つきで行われた。

800人の大集団の歌声の音調も揃い、会場を圧し、こみ上げるような感動を覚えた。

懇親会に先立ち、役不足ながら東京側から相も変わらぬ、上村会長はじめ新潟からの東京青山同窓会に対する支援のお礼と、古き誇りを新しく、同窓会がますます発展し、元気で「玲瓏の天」、「百里流れて」を斉唱したい旨を申し上げて、挨拶とした。

来賓としての長谷川市長（61回）は、度重なる身内の不幸に見舞われたと何

っていたが、市政に対する自信満々の抱負を、堂々と披露しておられたのは印象的であった。

出席多数の幾組かのクラスに、越の寒梅が贈られて「わあっ」と歓声上がる。

ジャンケン競争の勝負ごとに、歓声と嬌声が交じる。応援歌の歌声の中を、同窓生との交歓にあちこち駆けめぐって杯を重ねる。

久し振りに、滝沢もと校長と懐かしく談笑している内に幕引きとなった。

名残り惜しい同窓会総会のひと時であった。



**卒業30周年
第76期生同窓会 (東京在住)
を終えて**

第76期幹事 岡田 恵子(旧姓 関口)

平成10年6月6日、新橋第一ホテルにて午後4時から東京在住者を中心に、新潟から先生方を招待して卒業30周年・第76期生同窓会を開いた。当日は新潟の幹事数人も駆けつけて下さったり、遠く北海道からも参加者があり、定刻より早々に100名近い懐かしいメンバーが顔を揃えた。

すぐに相手が分かり肩を叩き合う者もいれば、じっと顔を見、名刺を交換してからヤアヤアと言う者在り、女性達は会うなり、「キャー」「ワァ」と絶叫に近い状態で、始まって5分もしない内に騒々しい程盛り上がってしまった。中には、「あの人誰だっけ」と聞きあう姿もあちこちで見られた。何しろ大半の人が30年ぶりの再会なのだ。興奮するのも無理はない。壇上でマイクを持ち開会の辞を述べる長北学氏(日本航空・機長)の声も、名司会

の西沢芳樹氏(東洋信託銀行)と小松澄子さん(フリーアナウンサー)の声も、時にはかき消される賑やかさだった。広い分野に亘り、第一線で活躍している者が皆、嬉々として高校時代に帰り、楽しく夢中になって語り合っている姿を見て、この日を迎えるまでの苦労も一気に吹き飛んでしまった。

思えば、高い会場費は第一ホテル経理部の花沢豪氏にお世話になったし、案内状はコピーライターの藤田みち子さんをお願いした。そして一番大変だった名簿処理は、東京青山同窓会の名簿を基に、各クラス幹事が骨身を惜しまず協力して下さったおかげで6ヶ月で完成した。

さて、話は当日に戻るが、この日の乾杯は新潟らしく日本酒で始まった。それも渡辺精也先生の今は亡き奥様のご実家(高野酒造)から届けられた逸品であった。出席者一同、奥様のご冥福を祈りつつ、30年振りの再会を喜び、格別な美酒に感謝をして頂戴した。渡辺先生の他に高橋満先生、関根彰円先生、森幸雄先生、そして片岡久先生にお越し頂い

た。先生方は、今も昔とあまりお変わりなく、ともすればどちらが先生か生徒か区別のつかぬ者もいる。そんな立派な中年に成長した私共に対して目を細めながら、「君たちの時代が一番よく学び、バンカラ風の趣を残し、元気溢れる最後の学年だった。」などと褒めて下さった。この年になっても温かく見守って下さる先生方の存在は何と有り難いものだろうとしみじみ感じ入ってしまった。そして今までは野心に燃えていた同期の仲間達もこの年になってくると、競争の激しい東京で皆、良くやってきたなとお互いを褒めあい称え合う雰囲気になっていた。

最後に懐かしい校歌、応援歌を山際岩雄氏(山形大学医学部教授・外科)の素晴らしいエールと共に合唱し、2時間があっという間に過ぎてしまった。半数以上の者は、その後も去り難くパーラウンジに流れ、飲み語っていたようだ。

そういえば最後まで会計を気にして電卓を叩いていた尾張明美さんには、クレディリヨネ銀行の切れ者ゆえ、閉会の辞同様うまく終わりを締めくれた事を感謝してペンを置きたい。 1998年9月



レッツGO! 俳優座劇場

小松重男事務所プロデュース公演

同窓の作家として著名な、小松重男氏(56回)が演劇事務所を設立し、その第1回プロデュース公演を、来年1月に東京と新潟で打ち上げすることになりました。

今回の出し物は同氏のオリジナルで、なぜ明智光秀が謀反を起こしたか?の真因を独特の小松史観で切ってみせる「びすかうと物語」と、白昼堂々間男を商売にする男を主人公にした人情喜劇「密夫屋(みそかおや)」の2本立て。いずれも

綿密な考証に裏打ちされたドラマ設定と、ペース溢れる細やかな人間描写で、小松作品の魅力が堪能できる舞台になりそうです。

東京公演は、1月11日(月)から17日(日)まで、六本木の俳優座劇場で別表のように、また、新潟公演は、1月26日から28日まで開演します。

演出・印南貞人、美術・松下朗、出演は新克利、玉川伊佐男、はせさん治、相生千恵子ら個性派がそろっています。

チケットは前売り券5000円(チケットぴあ・チケットセブンなどで発売)、当日5500

円。ただし、当同窓会員は、特別料金3000円で観賞できます。チケットの申込は、当同窓会事務局、または下記までお電話いただければ、申込書、および振込用紙をお送りします。

【小松重男事務所】

〒145-8790東京都大田区南雪谷4-7-3

TEL.03-3720-4025

平成11年1月11日～17日

六本木俳優座劇場<全席指定>

11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)
—	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00
18:15	18:15	18:15	18:15	—	—	—

85回同期会報告

幹事：奥村 基

今夏は新潟市内で集中豪雨による被害があった。私の実家がある小針でも床下浸水になったが、すぐに治まり大事には至らなかった。数日後、8月6日午後6時半より市内の新潟会館において第85回同期会が初めて催された。当日はやはり雨で新潟らしい天気となった。メインの立食パーティーに先立って午後3時より新潟高校北校舎にて恩師の先生方による特別講義が行われた。25名の元生徒が、日本史の三浦先生と数学の野坂先生による各氏30分、計1時間のなつかしいお話を拝聴することができた。建設途中の新校舎を眺め、旧校舎の感触とニオイを味わう、つかの間のタイムワープを楽しんだ。

パーティーには、先生14名と同期生69名、計83名が集まった。金子先生、沢田先生による御挨拶に始まり宴は盛り上がった。果てはスキー授業のビデオ

の上映など趣向あふれる会となった。それにしても、20年以上のブランクがありながら卒業当時の顔をすぐに思い出せるのが不思議な位だ。人間のメモリも馬鹿にはできない。在学時に喋ったことがなくても、同じ話題が見つかれば話ははずむのだから面白いも

のだ。

シメには、やはり丈夫斉唱。元応援団幹部（ゴメン、名前忘れた）のリードによる。二次会会場は、居酒屋赤とんぼ西堀店で、手回し良く送迎バス付きであった。

尚、今回の事務局担当は、佐野牧夫、高須（宮島）洋子、遠山和良、渡邊毅、梶原裕、斎藤（小竹）さゆり、の各氏である。2年後の2000年には、2回目開催の予定なので、友人の消息を知っている方々は是非お教え願いたい。



原稿募集中

編集部では、各回の楽しい同期会の報告やYellowPageの原稿を募集しております。写真と共に事務局まで原稿をお寄せ下さい。

同窓生 YellowPages—その1

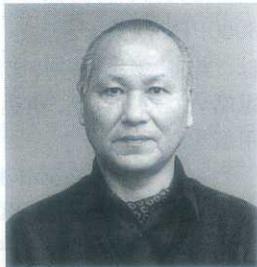
東京で元氣一杯活躍を続ける60回生、現役事業主4人のCMコーナー！

グラフィックアート

(株)アートランド 代表 金山 常吉
デザイン界もパソコン時代

ネットワークで世界中の資料を集めながら、世界のどこのお客様にもデザインサービスができるようになりました。

私は専門学校でデザイン関係を教えますが、学生たちの若い力は、まさにこの新しい時代に発揮されるものです。日本人としてのきめの細かさ、一通りの数量管理能力、万人博愛の心、ぼんやりしているようだが、いざというときには責任者となる勇氣。これらはちゃ



んと親から渡されたもの。資源の少ないわが国ではソフトに強いこの人達の発展を大いに期待し、育んで行くべきだと思います。

しかし、国のデザイン行政の貧しさが若いデザイナーの日本離れを促し、世界で活躍せざるを得なくさせるでしょう。

広告・出版の仕事が続けて45年、最近ユニークな自費出版を多く手がけて好評です。千年後にも輝く本を編集していこうと気概は満々です。社史・自分史などを作りたいとお考えの方はぜひご相談ください。

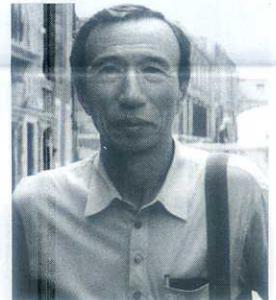
【お問い合わせ】(株)アートランド
〒162-0835東京都新宿区中町15-406
電話 03-3269-7014 Fax 03-3269-7135

建築

(有)小林建築企画 代表 小林 満
あなたの家の地震対策は大丈夫？

建築を取り巻く環境変化の厳しい時代です。直下型地震対策、省エネルギー対策、騒音防止、放送・通信の多様化などを考慮した長寿

命住宅の建築設計やコンサルタントをいたします。大画面の映像や大型音響設備を自宅や小ホールに設置するための遮音と室内音響の適正化、さらに調光を含む最適な環境作りのお手伝いをいたします。



私が開発した自動販売機の転倒防止器材は、屋外機用としては20年ほど前からコーラやキリンビバレッジなど主要ポトラーで使用されています。最近屋内設置の基準が厳しくなり、その対応品を開発し発売。

ホテル・オフィスビル・公共建築などへの設置でお困りの方はご一報ください。

【お問い合わせ】(有)小林建築企画
〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-5-12-305
電話 03-3407-5715 Fax 03-5485-0293

信濃川ウォーターシャトル事業

栗原道平 (82回)

既に青山同窓会報にてお知らせ致しましたが、”百里流れて信濃川、悠々海に入るところ”と校歌にも歌われる、新潟の母なる川 信濃川に水上交通を復活させる事業を本校卒業生が中心となって進めています。

一般市民を主体とした個人株主による出資が既に一億円を超え、1号船の建造も着手されました。 建造も本校卒

業生の経営する新潟市万代島の東和造船(株)で行なわれており、来年1月には世界で一番美しい19トンの旅客船が、信濃川に浮かびます。

本事業は2000年3月1日を開業目標として旅客船5隻により、新潟ふるさと村と万代島の間を途中、東関屋駅、県庁前、芸術文化会館前、万代シティ、万代橋西詰等に寄港し、片道35分で結ぼうという

もので、平日朝夕は15分間隔、それ以外は20分間隔で一日当り上下94便を運転しようというものです。これにより、1日平均3千人、年間11

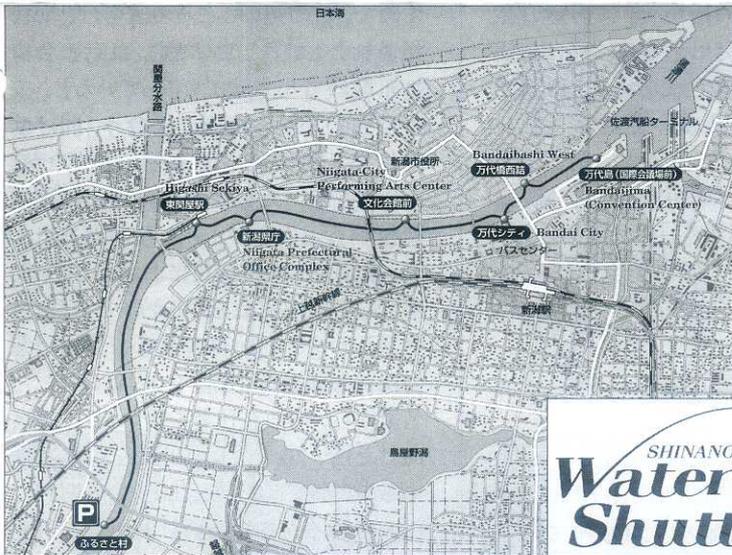
0万人を輸送する計画です。

新潟は、水の都と称しながら、実際に市民や訪問者が水の上を訪れる機会は、ごく限られているのが現状です。かつて、情緒溢れる街並みを演出していた掘割も埋め立てられてしまい、個性的な都市の顔が失われたままです。

また、利便性の高い公共交通の整備がなされないまま、自動車交通に対する依存度をますます高めつつあり、環境負荷を増大させています。このような自動車依存の交通政策を見直す契機としたいという願いも込め、本事業は進められており、全国的にも例を見ない独創的でユニークな試みであると注目を集めています。

開業に至るまでは乗り越えなければならない関門が多くありますが、同窓生の皆さんからもぜひ信濃川ウォーターシャトル(株)の株主になっていただき、本事業が成功するよう力強いご支援をお願い致します。株式のお申し込み、お問い合わせは下記までお願い申し上げます。

信濃川ウォーターシャトル(株)
〒950-0802 新潟市一日市180番地
栗原レミコン(株)内
TEL. 025-272-7040 FAX. 025-274-1389
<http://www.pavc.ne.jp/~sws/>



同窓生 YellowPages—その2

旅

海外旅行開発(株) 代表 高城英雄
より良い旅づくりをいたします

会社設立以来四半世紀を越え27年目に入りました。大手の旅行会社と肩を並べながらも、その大手にはない一味違った海外の旅、国内の旅の企画に専心しています。



これまでユニークな旅を多く手がけてきましたが、印象的な企画は、かつて高校時代の書道の渡辺先生からコーディネーターを引き受けていただき、中国・台湾への漢書・漢文の旅とか、還暦記念のハワイ旅行、中国・三峡下りなどがあります。またイベントとしては日本大相撲・海外巡業の米国サンノゼ場所の企画をはじめ、実行委員会を組織し、その運営と相撲ファンの旅の推進など、旅行企画も様々です。都内の一日

観光も企画します。中堅落語家を進行係として江戸の下町情緒を訪ねる企画は好評でした。やわらかな発想でお客様のご要望に合った旅づくりをいたします。また国内・外の安売り航空券の販売もしておりますので、旅のことなら何でも気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】海外旅行開発(株)
〒105-0004 東京都港区新橋3-16-12 横山ビル
電話 03-3433-5544 Fax 03-3436-6633
Eメールアドレス otpi@ma.kcom.ne.jp
ホームページ <http://www3.nsknet.or/~otpi/>

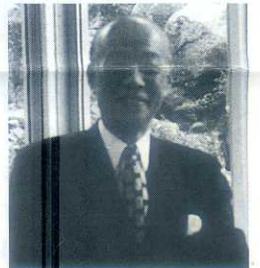
映像

(株) クリエイト・ジャパン 代表 益子恒徳
記録映像情報の作り手として

映像情報といっても多種多様です。日常生活の中で親しまれている映画、テレビ、ビデオに代表される映像は、近年のパソコンをとりまく環境の変化により、その記録の方法や再生・上映のシステムがさまざま変わっています。

フィルムでしか撮影できなかった映画からビデオが生まれ、更にデジタル化された映像がバ

ソコンを通してマルチメディアやインターネットへの双方向のアクセスを可能にしました。また、大容量の記憶媒体であるCD-ROMにビデオ画像を挿入してビジュアルな案内情報や百科事典、ゴルフプレーなど、様々な企画作品が大量生産できるようになりました。



私は各分野のお客様より依頼されたプロジェクトの記録、企業紹介・製品PRなどの映像製作を手がけて40年。ハードが変革を遂げる中で、映像ソフトを作る基本姿勢は、いつも変わりません。

これからも映画、ビデオは勿論、CD-ROMやDVDなどデジタル化時代に対応した映像情報の企画、製作を続けてまいります。

映像製作のことなら何でもご相談ください。
【お問い合わせ】(株) クリエイト・ジャパン
〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-8-3A
電話 03-3584-1043 Fax 03-3584-5509

寄稿

男性カルテット "ゆーかり" 紹介

矢川 和偉 (60回)

10年目の記念写真

男声カルテットゆーかり 10周年記念コンサート

横井 洸二
矢川 和偉
大越 賢二
磯村 慎一

ピアノ 笥 千佳子
指揮 手田川 安樹

'98 3.7 (土)
開演 18:00 開場 17:30

まゆりあん 大ホール
品川区立総合区民会館
定価 3000円

出演 竹下景子

東京青山同窓会 東京失物拾得部 東京音楽学校

〒108-8501 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル10F
TEL: 03-3476-0711 FAX: 03-3476-0712

〒108-8501 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル10F
TEL: 03-3476-0711 FAX: 03-3476-0712

平成10年11月の東京青山同窓会のアトラクションに"ゆーかり"が出演することになりました。私はセカンド・テノールをつとめています。当日は世界の歌として「コンドルは飛んでゆく」「淡き光に」「ウイーン我が夢の町」「シャンソンメドレー」など、また日本の懐かしい歌として「昭和20年代の歌のメドレー7曲」「青春時代」「いつでも夢を」「愛燦々」などを歌います。

"ゆーかり"は『熟女のハートをゆるがす』をモットーに10年前、横浜国立大学グリークラブOBの同期3人と関西学院グリークラブ出身の磯村の4人で発足した熟年男性カルテットです。好きだった歌、懐かしい歌を男声合唱に編曲して自分たちも聞く人も楽しめるものを求めつけました。現役ビジネスマンをしながら"ゆーかり"の練習はスケジュールの中で最優先でした。幸いに指導者・編曲者・練習場所に恵まれ、'92年にはシドニーのオペラハウスでのコンサート、'94年にはガムでガム大学との交歓演奏会等海外公演も行いました。

最近、メンバー各自は職場こそ変わりましたが、カルテットに対する意欲は益々盛んで年間のステージは十数回を数え、

レパートリーはクラシック、ジャズ、シャンソン、ポップス、演歌など三百曲近くになりました。

今年は結成十周年を記念して三月に大井町の品川区立総合区民会館「まゆりあん」の大ホールで約千人を集め、女優の竹下景子さんから友情出演で司会をして頂き好評を得ました。また、八月には恒例の軽井沢コンサートに引き続き、北上・水沢演奏旅行を行いました。豪雨にも拘わらず大勢の聴衆に来て頂き感激しました。9月15日には、私の住む久里浜地区敬老会のアトラクションにも出演しました。

結成十年の締め括りの年に同窓の諸兄弟の面前で演奏出来るのは喜ばしい限りです。当日はMUZO会(60回)諸兄弟多数の参加も期待しています。

- メンバーの紹介と近況○
- トップテノール: 横井 洸二
"ゆーかり"の代表
- セカンドテノール: 矢川 和偉
塾のオーナー兼用務員
- バリトン: 大越 賢二
幼稚園の事務局長
- ベース: 磯村 慎一
関西学院グリークラブ 出身
- ピアノ: 笥 千佳子
声楽・合唱などのプロの伴奏者

寄稿

東京、大阪、そして 新潟

青山同窓会幹事長
石田 瑞穂 (67回)

平成7年に幹事長のご指名を受けました。それまでも地元在住、印刷屋という仕事柄、青山同窓会会報の編集、印刷にかかわらせていただき、また67回の学年幹事として、同窓会の仕事のいささかのお手伝いをさせてもらっていました。そんなわけで、歴代の東京青山同窓会の会長以下、役員の皆様の手弁当と、奉仕の精神で、数々の事業が企画、実行されて来たことを承知しておりました。そのご労苦に心から敬服し、感謝する

次第です。

幹事長就任以来、東京の総会、新人歓迎会、講演会などのご案内、ご招待をいただき、出席のたびに、多くの皆様とお会いできてうれしく、喜んでいます。それにしても、東京近辺に在住する同窓、東京に進学する同窓の多いことに驚いています。この多くの人達に、会合の案内をし、その出欠を取りまとめ、当日を仕切っていく。そして、終われば会計の後始末、たいてい足が出て、その始末に頭を悩ます。幹事役諸兄弟の下働きに、改めて感謝致します。

私も地元で、同期会やいろいろやりますので、その辺のところの苦労は、同病相憐れむというところでは、東京の会に毎年続けて出させてもらっていると、去年は会わなかった人に出会う、聞けば昨年まではずっと関西勤務だったとか。そして去年いた彼は今年の春の転勤で関西へ行ったとか、そんな話題も出ます。新潟で、上村会長にお願いして、関西でも青山同窓会をやりたいですね、との話しがまとまり、昨年初めて青山同窓会関西懇親会を企画、100周年に作った名簿から、関西在住者を拾いだし、ご案内した所、70人余りの出席を得て開催することができました。30年余も関西に住んで居るがこんな会は初めてで大変よかったと会場で言われますと、いささかの苦労も吹き飛んでしまいます。関西で永住の同窓も結構居ます。東京には及びませんが、関西への進学者も増えて居ます。お陰で今年も関西で開催することになりました。11月20日(金)ホテルグランヴィア大阪、午後7時開会です。東京から関西へ出張中の方のご出席も歓迎いたします。

働き盛りの青山同窓会の会員は、東京に、大阪に、全国各地で活躍して居ます。名簿から案内を出して、宛先不明で戻る人も多く、それだけ激しく転動しながら働いているのだなあと感じさせられます。東京の会に刺激されて、今歩き始めた関西の会が、続いて行くことを願っています。幸い現地在住の若い同窓生諸君も、手伝いますと言っています。

東京、大阪、そして新潟と、青山同窓会のトライアングルががっちり手を結び、会員の親睦と、母校の発展に寄与できればと願っています。

会員企業のホームページ紹介

■海外旅行開発(株)

代表・高城 英雄(60回)

<http://www3.nsknet.or/~otpi/>

ユニークな旅ならおまかせください(本紙4-5ページ参照)。

■(株)サンコー

有菌 順子 勤務(旧姓黒崎・75回)

<http://www.sanko1.co.jp>

WinやMacで企画書やチラシ、社内報などの制作をお考えの方、苦しんでいる方にお役立ち情報満載です。

■ワインハウスゲアハルト(株)

代表・佐藤 邦雄(75回)

<http://www.gerhardt-jp.com>

ワインの輸入販売。ワインは贈答品にも最適です。一度のぞきに來てください。

■信濃川ウォーターシャトル(株)

代表・栗原 道平(82回)

<http://www.pavc.ne.jp/~sws/>

信濃川を走る水上バスを新規で起業しました(本紙5ページ参照)。美しい船を見てください。

新人歓迎会余話

今年の会場は三浦先輩がチェーン展開されている一龍屋台村の月島店をお借りしたが、リラックスした雰囲気が一番楽しんだのは意外に大先輩たちではなかったでしょうか。欠かさず出席して下さる皆さんには変化があってよかったのかも知れません。それにしても、新人たちを見ていると、年々女性が増えてびっくりします。数だけではなく、元気が良いのも女性の方のような気がします、私の思い込みでしょうか。とにかく、ニューパワーに期待しています。(編子)



平成10年度 東京青山同窓会 総会のお知らせ

【日時】

平成10年11月13日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開始

【総会】

年次報告など

【懇親会】

立食パーティー

【会費】

一般・8000円

女性・5000円

大学生・3000円

【会場】

東京・九段

ホテルグランドパレス

3F 宴会場「白樺」

千代田区飯田橋1-1-1

TEL. 03-3264-1166



最寄り駅

【九段下駅・徒歩3分】東西線(7番出口)/半蔵門線・新宿線(3番出口)
【飯田橋駅・徒歩7分】JR総武線・有楽町線・南北線

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを
明記し、右記の費用(切手にて)を同封
の上、事務局までお送り下さい。

■住所リスト

1学年/1500円分の切手

■宛名ラベル

1学年/2000円分の切手

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が
省けます

振替手数料が
無料になります

IDカードとして
お持ちください

平成9年度・会費納入者一覧

H10.5.1~H10.9.30現在まで

32回 (1名)	田中 利男	近 泰男	栗林 貞一	長沼 雄峰	田村 康一	寺尾 正大	小木 恵介	長沼 正昭
曾我 英彦	49回 (14名)	塩谷 芳男	栗林 洋	長橋 徳衛	津野 慶浩	中村 秀子	加藤 博	原 永庫
35回 (1名)	赤松 元敏	中島 常雄	小池 和男	長谷川 耕一	中川 純子	古館 信生	加門 文隆	81回 (8名)
近藤 百之	阿部 東	中村 正彦	小城 一廣	長谷川 義明	中島 仁	増子 藤男	木村 喜蔵	荒川 洋
36回 (4名)	池田 純一	林 博	小林 謙二	長谷部 良雄	庭山 暢彦	69回 (5名)	佐藤 浩	小野島 正彰
植木 正平	井上 正	堀 時男	茂泉 喜彦	村山 健	藤沢 靖郎	佐藤 孝靖	佐藤 正也	尾山 尚
関 昇	逢坂 猛男	盛山 淑郎	洪水 幸三	谷田部 信	星 満	菅沼 浩	土屋 彰義	上村 隆
関根 達夫	小黒 義一	山田 豊	高橋 正利	横村 一郎	吉田 豊祐	田島 秀夫	西田 百合子	近藤 敦
八木 博	小田 登	渡辺 義隆	高山 昇二郎	62回 (28名)	和田 弘治	服部 千尋	波多腰 明	笹川 典男
37回 (1名)	梶原 計佐	54回 (1名)	田中 七郎	石黒 恒	65回 (17名)	山田 建男	75回 (13名)	白石 義人
馬場 幸一郎	白川 保	安達 信吾	長島 一郎	石田 寛	浅田 和之	70回 (16名)	石塚 文雄	玉木 勝一
38回 (2名)	中村 廣徳	55回 (8名)	納谷 喜郎	岩田 亮司	池野 浩	池田 好正	入江 仁一郎	82回 (7名)
高野 政夫	仁保 武人	阿尻 威吾	藤原 幸雄	内山 隆之	伊藤 忠明	石井 堅一	遠藤 十三	稲川 純
丸山 岩三	濱 博世	新井 勝龍	牧 泰彦	大高 康夫	宇佐美 快昭	猪口 孝	大野 敏雄	金子 裕一
39回 (2名)	廣川 浩一	倉茂 周明	水沢 邦弘	小黒 昌一	枝松 昇	岩城 忠之	川上 滋	小亦 斉
杉崎 晋	渡部 松生	塩谷 政実	皆川 潔	角家 孝之	小沢 征夫	岡田 利邦	高橋 正	白倉 真澄
村田 篤	50回 (19名)	千葉 繁治	山崎 徳左衛門	小池 健治	河路 明夫	金子 正史	玉木 廣	中島 肇
40回 (3名)	一柳 俊夫	中村 正義	山田 陽一	小島 研也	久保田 泰雄	川田 昌人	橋爪 博美	成田 昌稔
会田 俊雄	岩男 仁志	中村 幹男	山吉 一成	小杉 幸弘	佐藤 貞夫	佐川 幹恵	本田 行生	西山 活子
阿部 俊二	岩澤 信夫	村山 義夫	山吉 陽吾	近藤 哲朗	波谷 皓	菅原 一雄	三冨 修	83回 (5名)
小山 賢市	枝村 道平	56回 (13名)	渡辺 満	佐藤 勝彦	中野 哲之	田辺 豊	村山 勝	浅間 芳朗
41回 (4名)	小黒 聡	朝比奈 和三	60回 (25名)	佐藤 武司	本間 忠彦	土田 紘一	八木 健	阿部 和弥
五十嵐 富郎	佐藤 剛一	阿部 弘昭	阿部 和彦	佐藤 健一	丸山 一敏	野川 晃一	山崎 信行	鈴木 時男
伊藤 一雄	瀬谷 誠	石田 恒良	池浦 厚司	高橋 健一	水野 左敏	野村 治	76回 (20名)	本山 明
布施 栄信	高橋 修	金子 昌次郎	石黒 忠士	田子 元	山崎 耕一	本間 裕弼	天野 直二	山口 虎彦
星名 孝平	竹田 忠夫	川崎 尚一	岡村 嘉志	田中 毅	山本 和親	山田 修	小田 高久	84回 (5名)
42回 (7名)	塚野 俊彦	斉川 和平	小川 秋実	田中 照雄	吉田 治彦	山宮 士郎	尾張 明美	大須賀 郷子
相沢 康平	敦賀 博	真田 八束	切貫 久司	中野 義一	66回 (17名)	阿部 三男	加澤 正樹	加藤 仁
桑山 一郎	寺田 秀夫	清水 隆	小出 直	中山 敏彦	阿部 定寛	内田 定寛	北畠 彰	白川 直樹
塩谷 正雄	時田 勇司	鈴木 寧	小林 賢一	藤井 則忠	川原 英夫	小飯塚 豊	久住 呂 克太郎	瀬在 昭弘
高橋 二郎	中村 晴信	原 英二	小山 彦	藤原 岑子	菊池 重治郎	小林 碧	近藤 寿邦	瀬在 清貴
東城 真佐男	西村 明忠	松井 昭五	近藤 純夫	帆刈 宏典	熊谷 國男	佐藤 礼子	指田 久美子	85回 (5名)
廣川 治	藤井 義良	皆川 正男	佐藤 孝	三浦 愛三	合田 春美	高橋 敏生	佐野 敬文	雨木 若慶
丸山 平次	村山 一	山本 幸正	清水 悌作	村木 隆	捧 精一郎	森田 琢夫	鈴木 茂夫	荒井 文男
43回 (5名)	諸橋 謙一	57回 (3名)	高橋 英雄	山田 司郎	佐藤 文孝	渡辺 伸一郎	田中 邦直	塩田 拓哉
小沢 省三	山田 英世	小野塚 彰	高橋 進	吉田 行	塩崎 公男	72回 (16名)	太原 まゆみ	登坂 和生
滝澤 義雄	51回 (14名)	川口 政行	徳田 浩一	63回 (12名)	阿部 達	宇田川 由美	田村 俊作	中嶋 浩一
早船 春洋	浅見 信夫	横山 信弘	中田 亨	阿部 達	阿部 隆二	大野 博	長北 学	86回 (1名)
村山 登	池田 誠五	58回 (17名)	難波 正彦	阿部 隆二	五十嵐 信一郎	神林 賢治	宮腰 重三郎	87回 (2名)
本山 信城	上野 仁	植村 末哉	野村 保夫	會 正之	會 正之	野水 宏樹	細谷 洋一	87回 (2名)
44回 (9名)	大川 宏	奥村 陽彦	長谷川 秀三	梶原 哲郎	梶原 哲郎	半澤 弥栄子	間島 伸治	清水 忠明
今井 養乃介	大山 龍蔵	片桐 啓三	長谷川 信夫	川上 浩	川上 浩	星 莞二	湯本 雅恵	南 正人
笠原 實	笠井 謙	斎藤 茂	廣瀬 欽次郎	児玉 賢司	児玉 賢司	吉田 六左エ門	渡辺 敏	88回 (4名)
金子 一夫	笠原 仰二	佐藤 茂	丸山 敏視	白倉 至	白倉 至	鷺頭 陽一	渡辺 雅夫	今井 信一郎
斎藤 伸雄	梶井 功	佐藤 恪	水野 義雄	岡 彰	岡 彰	67回 (9名)	戸田 満弘	小竹 聡
坂井 健一	坂野上 啓	高橋 三男	宮田 庄之助	馬場 政説	馬場 政説	岡崎 功	富田 山李	斎藤 均
錦織 登美夫	鈴切 康雄	田代 喜十郎	山本 淳夫	山田 恵一	山田 恵一	小野 勝義	野村 耕治郎	89回 (1名)
廣川 勇一郎	田中 芳彦	大門 啓治	61回 (26名)	山田 益也	山田 益也	片山 忠一	細谷 長貞	竹田 直子
前山 金一郎	千葉 繁太	藤谷 秀雄	赤堀 和郎	青野 啓	青野 啓	川崎 昌彦	松永 宏五	90回 (1名)
山下 稔香	丸山 幹男	福田 満	朝日 明	阿部 欣司	阿部 欣司	佐々木 邦夫	安室 春美	田辺 文
45回 (3名)	和貝 輝雄	細貝 実	浅見 昭夫	石井 芳雄	石井 芳雄	高橋 三郎	渡辺 毅之	91回 (1名)
金澤 武	52回 (11名)	堀内 俊夫	安宅 久憲	大老 洋	大老 洋	水上 紀世子	73回 (5名)	原田 圭子
品田 弘	阿部 和夫	松井 慎平	磯野 啓	大石 正晃	大石 正晃	皆川 学	萱場 成郎	93回 (1名)
馬場 義輔	北村 新平	宗村 泰四郎	伊藤 英子	大倉 孝男	大倉 孝男	山田 尚男	中村 陽子	95回 (1名)
46回 (4名)	栗原 一也	望月 和明	河井 良三	太田 健治	太田 健治	安達 雅巳	成田 常也	橋本 篤英
上杉 栄一	斎藤 茂美	本永 祐嗣	川崎 栄一	川口 徹	川口 徹	五十嵐 昭	南波 祐二	103回 (1名)
下 勇	坂井 保也	59回 (30名)	五十嵐 正男	木山 清	木山 清	江上 雅子	宮崎 由美	赤塚 健太郎
富所 強哉	佐藤 昭三	池田 正文	板井 裕	桑野 光雄	桑野 光雄	上村 嶺子	74回 (18名)	106回 (2名)
山田 市男	塩田 欣彌	橋本 義行	小嶋 哲夫	河辺 全也	河辺 全也	亀沢 範正	藍沢 幹人	石井 雅也
47回 (3名)	廣川 勲	森 重郎	大島 洋一	河辺 隆幸	河辺 隆幸	草野 佐	石山 范	野本 裕史
斎藤 浩一	湯木 昭二郎	湯木 昭二郎	大野 敏行	小池 弘	小池 弘	小日向 信光	近藤 和久	以上528名
杉山 弘治	53回 (11名)	足立 公一郎	岩原 昭	小嶋 哲夫	小嶋 哲夫	近藤 貞雄	板井 勉	
48回 (3名)	佐藤 素一	真保 昌		小林 孝司	小林 孝司	近藤 貞雄	板井 勉	
				小林 元雄	小林 元雄	進藤 喜代子	江口 則男	
				佐藤 敏夫	佐藤 敏夫	鈴木 裕徳	遠藤 京子	
				助川 孝雄	助川 孝雄	滝澤 辰雄	遠藤 二郎	
				田中 忠夫	田中 忠夫	竹石 肇	大滝 均	

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてまたは指定銀行口座までお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)

H9/10/1~H10/4/30までの納入者(539名)は、前号掲載済みのため省略させていただきます。